

国土交通

2011.4—2011.5

特集
「三地域居住」というライフスタイル



No. 108



都市と生物多様性 Urban Biodiversity



都市における緑地空間の保全、再生、創出及びネットワーク化
Conservation, Restoration, Creation and Networking of Urban Green Space



特集

「二地域居住」 というライフスタイル

現在、専門の雑誌が多数出版されるなど、関心が高まっている田舎暮らし。

「自然の中で暮らしたい」、「休日は田舎で趣味をしながら過ごしたい」など、複数の地域で多様な生活を楽しむ。

それが“二地域居住”という新しいライフスタイルです。

受け入れ側である各地方自治体では、その土地の魅力を伝えるとともにサポート体制を整えています。

今回、実際に二地域居住をしている方のお話に加え、福島県・山梨県・北海道の取り組みをご紹介します。

さらに、被災地の避難所では、多くの被災者の方々が極めて不自由な条件の中で、助け合い励まし合いながら、これまでの生活を再び立ち上げようという強い想いを持って頑張っておられます。

立ちほだかる大自然の前に私たち人間の力は小さ過ぎて、ともすればくじけそうになりますが、ひとりひとりの力を信じ、何としてもこの危機を乗り越えていくんだという強い決意を持って、この国の復興を成し遂げていかなくはなりません。

私たちも小さな力ではありますが、記事を通じて被災地のみなさまを応援して参りたいと思います。

平成二十三年三月
編集部一同

CONTENTS

特集	
「二地域居住」というライフスタイル	
ルポ 福島県	04
裏磐梯の古民家で至福の時を過ごす	
ルポ 山梨県	07
自治体とNPOが両輪となって移住促進	
北海道―充実のサポート体制で「ちょっと暮らし」	10
業務密着 ルポシリーズ	
現場力	12
File 9 気象庁 大気環境観測所	
シリーズ探訪・探究	
訪れたいまち	16
鹿児島県奄美大島	
MLIT 歴史アーカイブス	
日本の灯台 140 年のあゆみ	18
教えて国土交通省！	20
はれるんのお天気教室	21
記者席から	22
MLIT NAVI	23



表紙

慌しい都市部での生活から離れ、田舎に行くとなぜだかほっとする瞬間がある。生い茂る緑、鳥のさえずり、澄んだ空気――。田舎暮らしの醍醐味は、ゆったりとした時間のなかで感じる心の安らぎかもしれない。(写真は山梨県で二地域居住をする松木さん。P.7からの本文もあわせてご覧ください)

国土交通

2011.4—2011.5

●平成 23 年 3 月発行 No.108 (隔月発行)
●編集発行／国土交通省 大臣官房広報課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)
ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>
●編集協力／株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

本誌の掲載文で、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りします。また、本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

・おいしいパン屋さんを見つけた・



ル
福島県
ポ

裏磐梯の古民家で至福の時を過ごす

湖のほとりに佇む古民家

岩佐哲次さん(63歳)が春から秋までの3シーズンを通じて福島県北塩原村、いわゆる裏磐梯の古民家2階には、わずか3畳ほどの書斎がある。まさに「男の隠れ家」といった趣の書斎には、古民家に手を入れるにあたって、2つの窓を新しく開けた。座椅子にどっかり腰を下ろすと、正面の窓からは、すぐ近くの松原湖を、背面の窓からは、表を通る街道の先に中景の山を望む。

松原湖のほとり、街道沿いに広がる集落のそば口近くにあるこの古民家は、築90年と言われる。1階と2階を合わせると、ゆうに10室を超える大きさ。屋根や外壁・

建具の一部はすでに金属製のものに取り替え済みだが、土間をはじめ、囲炉裏を切った板の間や畳の間、室内の建具には、古民家ならではの魅力があふれる。

1階では、手伝いの女性一人をパートで雇って、11時から売り切れまでそば屋を営む。屋号は、「蕎麦古屋(そばこや)」。地元産のそば粉十割の、つなぎを用いない手打ち麺が売り物だ。開店前には、1日20〜30食分のそばを自ら打って、準備を整える。冬を過ごす千葉県茂原市内の自宅敷地内には、そば打ちの小屋を建てたほどの趣味人。開店にあたっては、福島県喜多方市内の70才になる旧来の友達であるそば職人から指導を受けた。

冬場は千葉で暮らす

この日は、平日にしては客の入りはまずまずなのか、用意した20食分のそばはほとんどはけていく。岩佐さんは作務衣姿で、調理場と客を迎え入れる囲炉裏の間とを行ったり来たり。囲炉裏の周りでそばを食べてもらって、会話を楽しみなが、いい時間を過ごしてもう——それが、岩佐さんの願いでもある。

商売に没頭しているわけではない。地元産のそば粉は仕入れが限られていることもあって、そば屋の営業日は年間125〜130日。休業日にはなにをして過ごすのかを聞くと、「イワナ釣りや山菜採りですね」と、悠々自適の様子。若いころから山好きで、名刺に「耶麻親爺」を名乗る岩佐さんにとって、近くの山で過ごす時間はなによりようだ。

至福の時を過ごせるとはいえ、11月半ばになるとこの地を離れて、千葉で暮らす家族のもとに愛車を駆る。「自分の力で建てて、3人の子どもが育った家だけに、愛着がありますから」と岩佐さん。月に一度、除雪作業などに戻るものの冬は千葉で過ごす。

決め手はインスピレーション

岩佐さんが裏磐梯のこの古民家を購入したのは、10年ほど前、53歳の時。さかのぼること6年ほど前から、釣り用のベースキャンプにしよう、もともとあこがれていた古民家を探していた。

会津在住の知人からの紹介でこの古民家に出会った。6年間にわたって探し続けてきた経験が下地となったのか、決め手はインスピレーションだったという。

快適に過ごせるように、そして自分流のものになるように、購入した古民家にはプロの力も借りつつ手を入れていった。そして、57歳の時、転職を迎える。

当時、駅ビル管理運営会社で役員を務めていた。「ここが潮時」とばかりに、定年を前に長いサラリーマン生活に別れを告げ、ひと足早くに会社を辞めて、第2の人

生を裏磐梯の自然に囲まれて過ごすことを決めた。

地域活性化のきっかけに

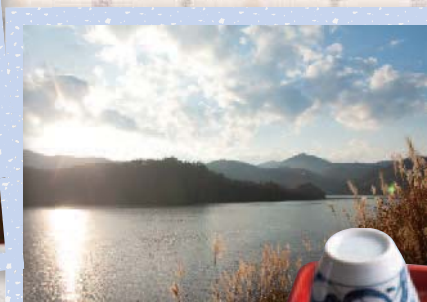
当初は、自然の中で遊んで過ごしていた。そのうち、人との出会いを求めて、なにかを起業しようと思いつく。4年前、近所の人にも薦められた、そば屋の開業に踏み切った。道楽とはいえ、そば打ちの経験はあった。一般には知られていないが、北塩原村では昔から良質のそば粉が作られていた。しかし、その量は少なくすべて自家用で食すのみだった。その存在を知った岩佐さんは当初、そうしたそば粉を分けてもらって打っていた。ところが、次第にそばの人氣が出てきたことから、地元では2年前、組合組織を立ち上げて、休耕地をそば畑に生まれ変わらせる取り組みにまで手を着けるよう

になった。そば粉はいま、複数の農家から直接仕入れる。

地元で立ち上げた組合とは、松原遊休農地解消組合。理事長は、岩佐さん宅の隣に住む佐藤正義さんが務める。佐藤さんは岩佐さんに対する地元の反応をこう明かす。「古民家にどんな人がやって来るのか、私たちとしては気になっていました。結果として、いい人で良かった。ここで商売してもらうのは、大歓迎です」と、受け入れに迷いはない。「私たちにとっては、生まれた時からあるありふれた食べ物ですが、岩佐さんの打つそばが大人気になったことで、私たちのそば粉がこんなに評価されるんだ、ということに改めて気付いたんです」。

岩佐さんがこの地で過ごすようになったことは、地域の活性化にも結び付きつつある。

同じように二地域居住を始めてみたいという人に向けて、岩佐さんはこうアドバイスする。「心の豊かな生活を送るという理想を実現できるのが二地域居住です。戻る場所があるのだから、安心して踏み切つていいと思います。自分の世界や人とのつながりを大切に生きたことに没頭するのが、成功の秘訣です。事前に緻密に考えすぎることなく、走りながら考えていきましよう」。



古民家のそばに広がる松原湖。冬は氷結した湖上でワカサギ釣りが楽しめる



「最初はどんな人なのか気になりましたが、その人柄にふれ、いまでは会話を笑いが絶えません」と佐藤さん(左)



2階にある3畳ほどの書斎。好きなものに囲まれながら景色を楽しめる、とっておきの空間だ



お客さんとの会話を楽しむ岩佐さん。東京圏だけでなく、仙台や新潟からも日帰りして食べに訪れるそうだ



店の休業日には、イワナ釣りなどで自由な時間を満喫している



千葉で現役として活躍していた頃の岩佐さん



「奥裏磐梯・ひばら蕎麦粉」の銘柄で商品化されたそば粉。インターネットや新聞記事にも取り上げられ、注文が増えている。「奥裏磐梯」とは、松原湖最奥のこの地の魅力を広めたいと岩佐さんが願いを込めて名付けたもの



移住希望者に空き家を紹介

新宿駅から特急で1時間半の距離にある山梨市では、地元のまちづくりNPOとともに、空き家への移住促進に取り組む。

空き家の提供者と移住希望者とを結び付けるのは、市で運営する空き家バンク制度だ。過疎対策の観点から、平成18年9月に立ち上げた。空き家を売りたい・貸したい人を市で募って、現地を確認したうえで情報を公開する。一方で、

利用登録を済ませた人を対象に随時、新しい物件情報を郵便やメールで送るほか、毎週金曜日には現地案内を実施する。双方の条件が合えば、契約に至るまでの交渉や契約実務を、提携する山梨県宅地建物取引業協会の会員社が担当する仕組みだ。

平成22年12月現在、売買・賃貸借契約に至った件数は50件。制度を担当する山梨市市民生活課の平

自宅は神奈川、田舎が山梨

平成20年7月から、市内の集落内にある借家と神奈川県相模原市内の持ち家との間を行き来する松木實さん(70歳)は、移住促進策の柱となる空き家バンクの利用者だ。

移住してもらおう前にまず山梨市に来てもらおう、という趣旨で交流促進事業を展開するのは、地元で組織するまちづくりNPO、山梨ガバメント協会だ。平成18年4月の立ち上げ以来、田舎暮らしの体験ツアーや移住希望者対象の相談事業などを、市とNPOが連携して実施してきた。迅速な対応や豊富なアイデアなど、民間ならではの利点を生かして行政との連携を図る。

野宗則さんは、「前担当者が確立したシステムの成果」と語る。

契約別では、売買20件・賃貸借30件。「利用登録者の中では賃貸希望が全体の6割近くまで増えてきました。空き家の価格が500万(1000万円程度なら購入を考えると、それを超えると、『まず実際に暮らしてみたら』と、賃貸に対する意向が強まります」(平野さん)。

山梨県ポ

自治体とNPOが両輪となって移住促進



炭焼き普及サークルのメンバー、山田駒平さん(右)。松木さんとともに荒れた畑や竹林から材料を集め、炭焼きを行っている



市営の炭焼窯を利用して炭焼きを行う松木さん。管理する畑の木を伐採して炭焼きしたのをきかけに、炭焼き普及サークルを立ち上げ活動している



松木さんの山梨のお住まい。このお宅は2軒目で、空き家バンクを利用した1軒目が手狭になったため、もっと広い家をど近所の方の紹介で引っ越したそう



「ほっとする、ふくしま」に住んでみませんか？ 福島県

ふくしま・ふるさとUIターン

福島県には、二地域居住に興味を持つ方々のためのさまざまなアクセス方法があります。実際に現地で宿泊できるものから、東京や大阪にある窓口を利用する方法など、ニーズに合わせて選択できます。また、総合的なアクセス窓口としては、右記があります。

〒960-8670 福島市杉妻町2-16
福島県 観光交流局 観光交流課
TEL 024-521-7287 (直通) FAX 024-521-7888
<http://www.pref.fukushima.jp/fui/index.html>

1. ふくしま暮らし体験施設

福島県内には、二地域居住・UIターン希望者が現地で暮らしを体験できる生活体験施設が各地で整備されています。

廃校の校舎を再利用したもの、築100年余の古民家を改修したもの、コテージとして新築されたものなど、バリエーションに富んだ施設があります。

「奥会津 のんびり館」

町の中心部にある空き家(旧旅館)を、地元木材を使い改修した体験宿泊施設。二地域居住やUIターン希望者にのんびり過ごしてもらいながら、リフォームモデルとして見ていただく。

年中無休。1泊2日(2食)7,000円(基本料金)、体験料金1,000円～。



3. ふくしまふるさと暮らし情報センター

ふくしまふるさと暮らし情報センターは、福島県がNPO法人ふるさと回帰支援センターに委託し開設している、定住・二地域居住に関する総合窓口です。

場所は、東銀座駅5番口からすぐ、歌舞伎座のそば七十七ビル3階、ふるさと暮らし情報センター内にあります。専門の相談員を置き、福島への定住・二地域居住を考えている方に、face to faceできめの細かい情報を提供しています。

相談受付	月曜日から土曜日まで 午前10時から午後6時まで (祝日及び8月13日～15日、12月29日～1月3日を除く)
連絡先	電話 03-3543-0333 FAX 03-3543-0346
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座4-14-11七十七ビル3F NPOふるさと回帰支援センター「ふるさと暮らし情報センター」内



2. ふくしまファンクラブ

ふくしまファンクラブは、「福島が気になる」人のための登録制クラブ(会費無料)。

会員登録すると、会員証と白河ミニだるまが進呈され、福島のことの話題を満載した会報誌が年4回届きます。

また、様々なスタイルの福島県での滞在プランなどを提案したり、抽選によるおたのしみプレゼントなども。さらに、県内各地の協賛店で割引や特典などの会員サービスを受けることができます。



4. ふるさと暮らしセミナー

ふるさと暮らしセミナーは、福島県内の市町村担当者などが首都圏に出向き、市町村での暮らしを紹介するセミナーです。

電話やメールではなかなか聞くことのできない生の話を聞くことができます。「現地に行きたくてもなかなか時間がなくて…」という人には、うってつけ。

今後の開催予定などは下記URLから。
<http://www.pref.fukushima.jp/fui/seminar.html>



写真は過去に開催されたセミナーの様子

「住んでみて良かった 福島再発見」

地味だと言われる福島県ですが、近年変化が起こりつつあります。田舎暮らし専門誌「田舎暮らしの本」読者アンケートでも住みたい県の上位に選ばれるようになりました。

自治体や様々なセクターの努力の結果とも言えますが、実は心強い応援団がいます。首都圏とのアクセスの良さ、安定した地盤、土地の安さ、大らかな県民性など、私たちが普段、意識していないチャームポイントが、既に移住されている方々が口コミで伝えて下さっているのです。

これはまさに、地元民である私たちに気付かせてくれた「福島再発見」で、県全体のイメージアップにも良い影響を与えてくれるものです。

今後も、定住、二地域居住をお考えの皆さんに、「住んでみて良かった」と思ってもらえるように充実した受入体制を進めたいと考えております。



担当者から
福島県商工労働部
観光交流局観光交流課
主査 高橋 健

民間

まちづくりNPOから

「新たな公共」として、地域活性化を目指します

地域活性化を目的に、地元の仲間十数人とともに立ち上げたNPO法人です。「新たな公共」として、行政の役割を一部肩代わりできないか、と考えています。行政ではだれもが納得できる理屈を求めるあまり物事が進みにくくなる面が否めません。民間ならではの良さを生かして、事業を展開していきます。

具体的には、田舎暮らしを体験してもらう事業やWebサイト上で移住希望者の相談に応える事業など、交流や定住を促進する事業に取り組んでいます。ホームページには、行政に先駆けて英語版を作成し、今後は韓国語版も用意する予定です。

これらの事業を通じて、山梨市内に住んでみたくなった方には、空き家バンクの存在を紹介しています。NPO法人で実施する田舎暮らしの体験事業は、空き家バンクの利用登録者にも案内してもらっています。行政とは車の両輪のような関係で、今後とも連携を図っていきたい、と思います。(談)



NPO法人山梨ガバメント
協会理事・事務局長
磯村賢一さん

NPO法人山梨ガバメント協会ホームページ <http://www.yamanashi-ga.org/>

行政

空き家バンク担当から

まず現地を訪ねて、キーマンを見つけてください

成約に至った実績50件が多いか少ないかはともかく、これだけの方が山梨市内に移住されたことは事実です。市内への移住者が増えれば、いろいろな面で地域内の活性化につながります。人と人のつながりが新しく出来るのは、意義深いことです。

平成23年度からは、NPO法人とも連携を図りながら、コンシェルジュの登録制度を始める予定です。空き家バンクの利用者で2年以上定住している方を、山梨市を訪ねてきた方々にその良さを生の声で伝えるコンシェルジュ役として登録します。

思い描いていることが、その地域ですべて出来るとは限りません。移住する先を決めるときには、現地を訪ねたうえで、少し時間を掛けて結論を出してほしいですね。暮らし始めてから相談相手に出来そうなキーマンを見つけておくことも、ポイントです。地域交流のイベントは、そうしたキーマンを見つける場としても活用できるはず。(談)

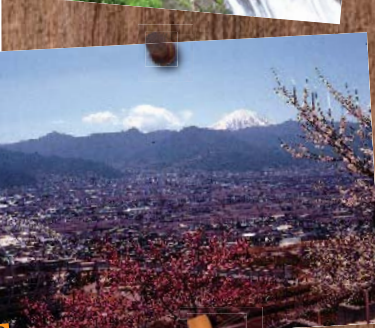
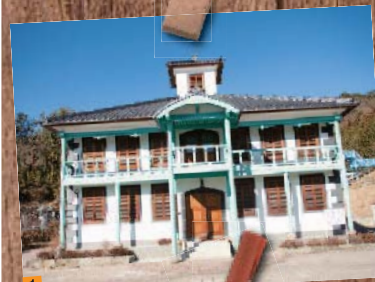


山梨市役所市民生活課
まちづくり・協働担当副主査
平野宗則さん

山梨市ホームページ <http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/>

空き家バンクについて <http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/gover/grapple/bank/>

View of Yamanashi City



1. 明治8年に県令藤村紫朗によって建築された牧丘郷土文化館(旧室伏学校校舎) 2. 原生林を流れる渓流がいくつもの滝をなし、国内屈指の渓谷美を誇る西沢渓谷 3. 笛吹川フルーツ公園からは、富士山だけでなく春には眼下に桃の花畑が広がる 4. 新日本三大夜景の一つである笛吹川フルーツ公園の夜景

相模原の家で暮らすのは、正月の時期と自宅で何か用事ができたときくらい。暮らしの基盤はもっぱら、この集落内の借家にある。

もともとアウトドア派。スポーツも好む。長年勤めた外資系企業を56歳で早期退職して以来、自然に恵まれた土地での暮らしを模索していた。

奥様から、「孫たちの田舎が欲しいから、自宅から100キロ以内の場所ならOK」と、前向きな一言が発せられたのを機に、構想は一気に進み出す。100キロ以内という条件を満たす山梨市の空き家バンクに関する記事を読んだ松木さんは、利用者登録を済ませて、物件探しに乗り出した。

初めは買うつもりだったが、希望を満たす物件が見つからないなか、賃貸借物件もあるのを知って、方針を切り替えた。「地域に溶け込めるか、1年くらい実際に住んでみるのでもいい」。そう思い直した松木さんは、集落内の小ぶりな一軒家を借りた。



炭焼窯は、道の駅「花かけの郷まきおか」に隣接した彩甲斐公園の中にある。丘になった公園からは、美しい富士山が一望できる

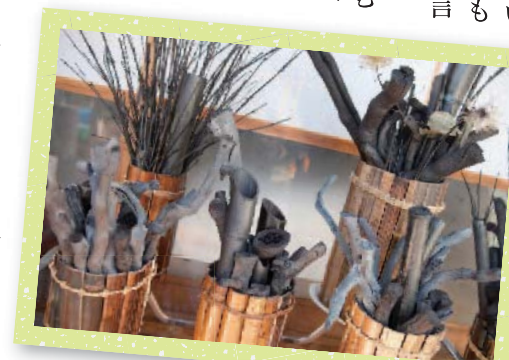
普段、松木さんは農作業や炭焼きなどで時を過ごす。近くの畑は、集落内の果物屋から紹介された。広さ約150坪。葛(くず)や笹で荒れていたのを、大型の耕運機を用いて整備し直した。大根や白菜など、多種多様な作物を育てる。農家が処分に困る果樹のせん定した枝などを材料に、試行錯誤を重ねて焼き方を体得してきた。炭焼きは初挑戦以来、20回近くになる。

松木さんは「炭焼きは環境にもいいんです。樹木を燃やしたり腐らせると二酸化炭素が発生しますが、炭にして、例えば土に埋めると土壌にも良く、二酸化炭素も発生することはないんです。出来上がった炭をできるだけ多くの人に活用してもらうにはどうすればいいか、活用方法も模索しながら取り組んでいます」と、炭焼きにかける意気込みを話す。

「朝食を済ませるとすぐ外に出ます。畑にしても炭焼きにしても、

外で動くのが好きな自分の生活スタイルに合っていると思います。おいしい空気を吸いながら体を動かしていると、心身ともに癒されますね」と松木さん。2地域居住を検討する人に向けて、「地域に溶け込んでいくことが大事ですね。あいさつを交わしてまず自分を知ってもらい、近所の人と良好な関係を築くようにしていくといいでしょう。いざという時にも安心です」と助言する。

暮らしを営むということは、周囲の人々とかかわりを持つということ。それだけに2地域居住を考える人は、住む家を探すだけでなく、地域になじめるかどうか感触を探ることも欠かせない。山梨市の空き家バンクとNPOの交流促進事業はまさに、この2つの必要に応えるもの。これら官民連携の取り組みが、移住促進につながっていくようだ。



松木さんが自身で焼いた炭を使い作ったもの。ただの炭がアート作品に变身



炭焼窯の裏側の山には「岩殿さん」と呼ばれる岩が。岩殿とは昔の地名からきたもので、当時の地域では大きな石に祠を立て、豊作祈念をしていたそう



お誕生日にご家族から贈られたという寄せ書き。山梨での暮らしを応援するお子さんやお孫さんから暖かいメッセージが寄せられている



松木さんたちが炭焼きを始めてから、木の伐採依頼や、材料提供者が次々と現れているようだ

次の自分探しの「たび」へ…

走り続けてきた自分に。
頑張ってきた皆さんに。
北海道は、様々なステージをご用意できたらと考えます。
観光、週末居住、二地域居住、賃貸移住…
色々な呼び方はありますが、何をなさるのか、どうお考えになるのか、皆様のお声に應えるための最初のステップに「ちよつと暮らし」を活用して戴ければと思います。
思い思いの時が刻まれ、たくさんの笑顔が弾ける…。
そうした北海道になりたいと思います。
次の自分探しの「たび」。北海道がお待ちしています。



北海道商工会連合会 特別推進局次長
NPO法人 住んでみたい北海道推進
会議総括プロデューサー
大山 慎介

観光に訪れただけでは味わえない、北海道での日常生活を体感できるのが「ちよつと暮らし」です。
北海道暮らしの受け入れに積極的な市町村が、一戸建て・マンション・コテージなど長期滞在可能な物件を多数用意しています。
「興味はあるけど、どこに相談すればいいんだろう?」

くらすべ北海道ホームページ(<http://www.kurasube.com>)「ちよつと暮らし」をご覧ください。

と思った方は
こちらへ

北海道移住・交流
総合案内窓口

にっこり クラスメイト どうへGO GO
☎011-251-1055

たとえばこんな土地で「ちよつと暮らし」。



■所在地:寿都郡黒松内町字黒松内 ■3LDK ■家賃:1ヵ月120,000円(寝具・清掃代別途、最長6ヵ月、延長可) ■問い合わせ先:黒松内町 企画調整課 TEL 0136-72-3376

黒松内町

利用者の声
今回のちよつと暮らしで、この地の自然のすばらしさと田舎の不便さ、冬の暮らしの面白さと不便さを体験できました、今度はほかの季節の暮らしも体験してみたいと思います。



■所在地:石狩郡当別町スウェーデンヒルズ ■賃貸料金:光熱水費込み、生活用品完備/2週間~128,750円(夏季)、143,750円(冬季)/1ヵ月~170,000円(夏季)、190,000円(冬季) ■問い合わせ先:当別町 美しいまちづくり課 TEL 0133-23-3073

当別町

利用者の声
北欧型住宅約370棟が建ち並び一般住宅地に建っています。関西などから訪れる方が多く、「自然が素晴らしくウォーキングが楽しかった。生活用品が揃っていて便利。寒い冬も住宅は暖かく快適だった」といった声が。



■所在地:池田町字千代田 ■3LDK ■家賃:1ヵ月:48,900円(電気料金・ガス料金・上下水道料金・NHK受信料を含む) ※1ヵ月未満の場合、1ヵ月の料金÷30日×日数 ※灯油代・飲食費・寝具および日常生活にかかる消耗品費・交通費等は使用者負担 ■問い合わせ先:池田町役場 産業振興課 商工観光係(移住ワンストップ窓口)TEL 015-572-3218

池田町

利用者の声
統一感のある美しい街並みが印象的。観光地としても有名な「ワインのまち」です。移住体験住宅は、市街地からある程度離れた閑静な環境で、利便性が良く生活に不便を感じませんでした。住民の方も親切で、移住にあたって最適な場所だと思いました。

体験者は語る…

実際に「ちよつと暮らし」をしたKEIKOさん(埼玉県在住)

文絵:KEIKO.N

すっかり「ちよつと暮らし」のファンになり、次は、魚が一番おいしい冬に、暮らししてみたいと思っています。

馬が好きなこともあって、北海道はあこがれの土地。イベントで「ちよつと暮らし」を知り、名馬のふるさととして名高い浦河町へ。七月から九月までの三ヵ月間、滞在しました。
緑豊かな市街地にある一戸建ての体験住宅(2LDK・家賃一万五千元/月)には、家具家電、調理器具や食器が揃えつけられているので、荷物は身の回りの物だけでOK。
わが家で暮らしているような気分、毎日海を見ながら自転車走らせ、おいしい手作りパン屋さんへ朝食のパン

を買いに行ったり、地元産のアスパラガスやトマトが並ぶ朝市をのぞいたりしました。港近くの鮮魚店には、とれたてのスルメイカがどっさり。初めて食べた真ツブという大きな巻き貝のお刺身も絶品でした。
牧場見学や、馬フェスタ、乗馬などで、馬にもたくさん触れることができました。コンプ漁師さんや馬の牧場主さんなど、町の方と出会うのもロングステイならでは。
滞在中は、役場の方が、親切に見守って下さるので、安心してすごせます。



困ったことがあっても、役場の方が、しっかりケアしてくれるので、心強いかな。
(KEIKOさん)



- 毎年、東京などで「北海道暮らしフェア」が開催されています。北海道の市町村や企業団体が出展し、さまざまな情報を得ることができます。昨年の開催風景はこちらまで→<http://www.e-ijyu.jp/>
- フェアの他にも全国各地で説明会を行う予定です。詳細は、北海道移住・交流総合案内窓口(011-251-1055)までお問い合わせください。
- 気になる場所があったら、まずは下見してみましよう。いくつか回って比べてみるのもいいかもしれません。

「絵日記 北海道でくらしみよう」

KEIKOさんは浦河町での滞在記録を手作り絵日記にしています。夏の北海道暮らしの感動や発見がとて楽しくわかりやすく紹介されています。浦河町ではこの絵日記をデジタル化し、以下のホームページにPDFファイルで掲載しています。移住体験に興味のある方や、浦河町での暮らしや観光に関心がある方はぜひご覧ください。

「浦河町ホームページ」<http://www.town.urakawa.hokkaido.jp>
↳「移住情報ナビ」をクリック!

「二地域居住」とは、複数の地域で多様な交流を行う新しいライフスタイルで、国土形成計画(平成20年閣議決定)の中でもその推進が位置づけられています。総人口の本格的な減少が見込まれる中、こうしたスタイルは、交流人口の増加、地域の活性化につながると考えられます。国土交通省の調査では、都市部を中心に人口の4割程度の希望者が存在しているとみられます。今では、多くの地域が受入・支援体制の整備に取り組んでおり、その中には、皆さまのニーズに合う地域もきっとあるはず。是非、体験してみたい!

国土計画局広域地方整備政策課

現場力

File 9

気象庁 大気環境観測所

わたしたちが生きている上で、決して欠かすことのできない大気（空気）。目には見えないため、その異変は人や動植物に影響がることによって気付くことが多い。人類活動の発展にともなう、近年生じている地球温暖化やオゾン層破壊といった地球環境問題。その原因となる大気中の成分を、長期にわたって監視しているのが気象庁・大気環境観測所だ。日々、継続して観測するその業務に密着した。



人里離れた山の上の観測所

ゴトゴトと車に揺られながら、蛇のように曲がりくねった細い山道をあがっていくと、道の先に白い建物が見えてきた。岩手県大船渡市三陸町綾里の小高い山の中腹に建つその建物は、今回の目的地である「大気環境観測所」だ。大気環境を専門に監視するための観測所として設置され、二酸化炭素、メタンといった地球温暖化の原因となる温室効果ガスや、オゾン層の破壊原因物質など、地球環境や気候に関する大気中の成分を長期的に観測している。

到着してすぐに目を奪われたのは、眼下に広がる太平洋。陸中海岸国立公園の中の三陸海岸に面しており、観測所からの見晴らしは抜群だ。大船渡市の市街地からも離れ、観測所の周りには人家やそのほか建物は一切ない。

そんな人里離れた場所にあるのには理由があるそうだ。「地球規模での状況を長期間にわたって観測する必要がある中で、観測所はできるだけ人間活動の影響を受けにくく、周辺環境の変化が少ない場所に設置する必要があるんです」。

そう話すのは技術専門官の滝沢厚詩。大学で地球物理学を学び、自然を相手にした観測の仕事をしたと入庁して11年目。北海道の測候所や気象台、気象庁本庁（東京）など各地を回りこの観測所にやってきた。それだけでなく、日本の最東端にある南鳥島の気象観測所や、果ては南極の観測隊への派遣経験もある豊富

な経歴の持ち主だ。

この観測所の職員は全員で5名。観測所へ20分ほどで行けるふもとの町の官舎で暮らし、朝夕一つの車に同乗して通勤している。観測所としてはとてもいい立地条件にある反面、職員は苦勞する点もあるのだと滝沢は話す。「観測所までの山道は未舗装なので、倒木や、大雪の影響で通勤が困難なことも年に何度かありますね。そのために車にはチェーンソーやスコップが常備されています」。

観測所から町まではとても気軽に歩いて降りられる距離ではないため、人や物の行き来は大変だ。「確かに不便な場所ですが、個人的には南鳥島や南極などでの勤務を思えばそんなに不自由はありませんけどね」と滝沢は苦笑しながら加えた。

太平洋を見渡す観測機器

滝沢の案内のもと、観測所の外や屋上に設置された観測機器を見て回った。観測機器は24時間運転。いずれも海を向き、視界を隔てるものは何もない。朝、一番に行う業務はこれら機器の点検だ。「動作状況や取得データが正常であるかを毎朝チェックしているんですが、虫やゴミが入り込んでいたり、くもの巣が張っていないかも要チェックです」（滝沢）。

観測所から少し離れたところには鉄塔がそびえ立っていた。鉄塔は観測対象である大気を取り入れるためのもので、人間活動の影響を受けずにより正確なデータを取得するため、観測所からも離れた場所

に立てられている。取り込まれた大気は、地中の配管を通じて観測所内にある観測機器まで送られる。

鉄塔の隣には金網に囲まれた小さな建物が。近づくのと前の看板には「あぶない危険」という文字。中に設置されているのは、高出力のレーザー光を発射するエーロゾルライダーという装置らしい。エーロゾルとは大気中に浮遊するちりなどの微粒子のことで、地上の日射量を減少させ気温を低下させる「日傘効果」や、地球からの赤外放射を吸収・再放射する「温室効果」などを持っており、地球の気候に大きな影響を及ぼすという。

レーザー光は1日4回上空に向けて発射され、夜間の観測の際には、緑色のレーザー光が夜空を一直線に突き抜けるのだそうだ。

何十年、何百年かけてコツコツと

「あまり近づくかないよう注意してくださいね」と滝沢に言われ、思わず立ち止まったのは気温と湿度を測る装置。「人が近づくことによつて気温と湿度に影響が出てしまうので」と滝沢。どうしても近づいたり触ったりする必要があるときは、正確なデータではないということとその時間を記録して「欠測」としなければならぬという。正しい精度でデータを得るためには、常に同じ条件で観測することが第一条件のようだ。

観測機器は実にさまざまなものが設置されていた。降水・降下じんを採取する

1. 山を登っていくと、小さく姿を現した大気環境観測所。直線距離で大船渡市の市街地から10km以上、東北一の都市である仙台市からは100km以上離れた場所に位置している 2. 観測所からは、美しい青空と海を見渡すことができる（写真は夏に撮られたもの） 3. 気象観測に携わって11年目になる滝沢は、この業務は先輩たちが積み重ねてきた結果に自分たちの観測データを繋げる、駅伝のタスキのようなものだと言ふ 4. この観測所では、2001年まで北西太平洋域で唯一の気象ロケット観測も行われていた



5. 観測用の大気を取り入れる鉄塔と、手前がエーロゾルライダーが設置されている施設 6. 観測所のメンバー。右から高辻慎也、滝沢、須藤幸男（所長）、大清水泰樹（主任技術専門官）、伊藤公博（技術主任）
7.8.9. 観測機器の点検を行う高辻。一つひとつ丁寧にチェックしていく 10. エーロゾルライダーから発射されたレーザー光が夜空に伸びる 11. エーロゾルライダーを設置する施設の室内。精密機械のため室温は厳重に管理されている 12.13. 鉄塔から取り込まれた大気を用い、温室効果ガスなどを測定している新観測室。天井には配管や配線が張り巡らされている 14. 観測室には濃度を測定する際の基準となるガスボンベが並ぶ 15. 主にオゾン層の破壊物質を観測する第三観測室にて、分析計の説明をする滝沢 16. 観測機器により得られた観測データをチェックする 17.18. 採取した降水は分析室で処理される 19. それぞれの席につき、デスクワークをこなす職員 20. 所長である須藤は、「毎日無事にスムーズな観測を行えるのが一番ですね」と話す 21.22. 観測所の水源となる取水口。生活用水としてだけでなく、さらに不純物を除去して観測にも用いられている 23. 観測には流量計や調圧器など、必須アイテムが盛りだくさん 24. 職員が通勤時に撮影したもの。三陸海岸が織り成すこの美しい光景は、ここで働くものだけへのご褒美だ

もの、大気の濁りの程度を測るもの…など多種多様だ。

一部を除き、これらすべての観測データは、観測機器から自動で観測所内にあるパソコンへ転送されている。そのデータを毎日チェックして気象庁本庁へ送るのだが、その前にデータとして採用できるかどうかを判断し、採用のものには統計処理を施して報告する。

この観測所が1976年に観測業務を開始して、最初に行った観測は降水の採取。35年経った今も続けられており、森林、植物の枯死、湖沼の酸性化などをもたらす酸性雨を観測している。採取したものは観測所内の分析室でろ過など処理を加えた後、冷蔵庫で保存され、1カ月に1度まとめて気象庁本庁に送り分析される。

「同じ観測でも気象観測とは違い、大気環境を観測するこの仕事は、ほんとに地味な業務ですね（笑）。その日その日で小刻みな変動はあるものの、数年、数十年、数百年という単位で積み重ねていかなないと、正確な変化傾向は分からないんです。継続してデータを取り続けることが何より大事です」（滝沢）。

5人で守るライフライン

昼食後、あるところに連れて行ってもらった。あるところとは、観測所の水源となる「取水口」。水道管が通っていないため、観測所の生活用水は直接沢水から得ており、ろ過・殺菌の役割を果たす取水口の点検・清掃を、職員が日常的に

行っているのだ。

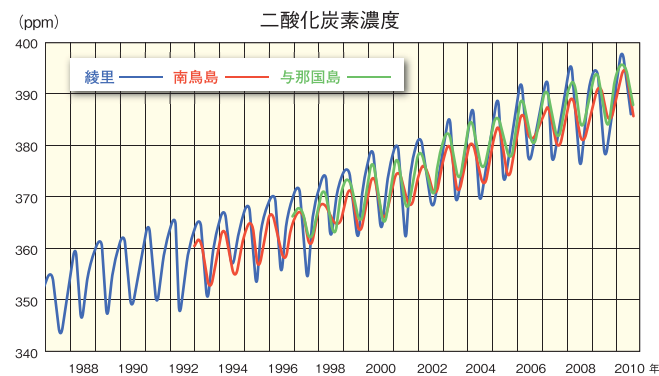
向かう前に渡されたのはスパイク付きの長靴と熊よけの鈴。観測所の裏側を5分ほど登ったところに取水口はあり、道には雪がどっさり積もっている。チリンチリンと鈴を鳴らし、慎重に足を踏みしめながら進んだ。

取水口は、沢水の取り入れ口からスタートし、砂利でろ過したり、炭で殺菌したりと、何段階かに分けられ設置されていた。そして最終的に機械で完全に殺菌され、観測所に供給される。断水などが起きないよう、冬場は特に凍結していないかなどに気を配っているそう。

山の上に孤立するように建つこの観測所では、それ以外にも倒木による停電など、トラブルは珍しくない。何かあれば自分たちの力でできる限り対応し、ライフラインの確保をしなければならないのだ。

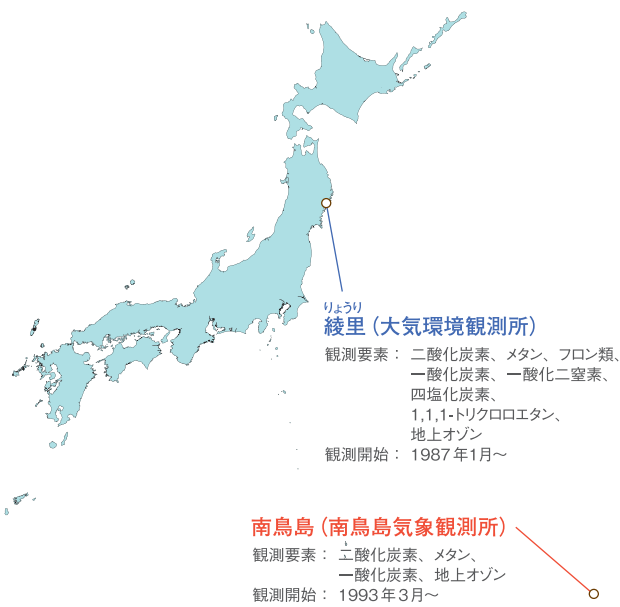
そんな厳しい勤務環境に置かれている職員たちだが、観測所内の雰囲気はというと、笑顔が飛び交い非常に和やか。「職員は5人と少ないですけど、1人では絶対できない観測なので、チームとしてお互い助け合いながらやっています」と滝沢はにこやかに話す。観測所を取り巻く、厳しいながらも豊かな自然は、最高のチームワークを培ってくれるのかもしれない。

国内3地点における二酸化炭素濃度月平均値の経年変化



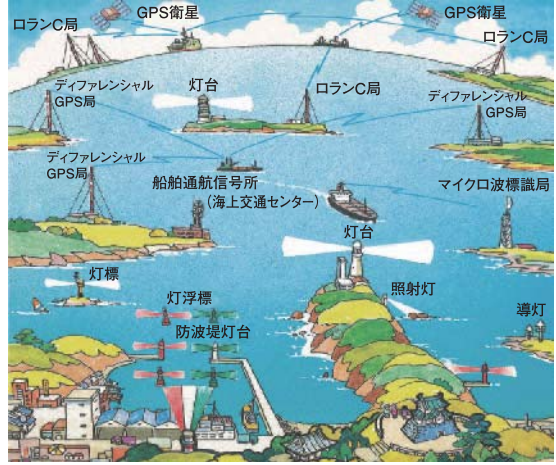
二酸化炭素濃度はいずれの地点においても、冬から春にかけて濃度が高く、植物の光合成が活発になる夏から秋にかけて濃度が低くなるという季節変動を繰り返しながら、年とともにその濃度が増加し続けている。

気象庁の温室効果ガス等の観測所



灯台（海のみちしるべ）

海には浅瀬などの危険な場所が存在しています。船舶が安全かつ能率的に航行するためには、常に自船の位置を確認し、危険な障害物を避け、安全な針路を把握する必要があります。このための指標（目印）として灯台に代表される航路標識が設置されています。



灯台の生い立ち

―わが国の灯台のはじまり―

灯台の歴史は「のろし」から始まります。今から約1300年前、遣唐船の通り道にあたる九州地方の岬や島で、昼は煙をあげ、夜は火を燃やして船の目印にしました。これが日本での灯台の始めといわれています。

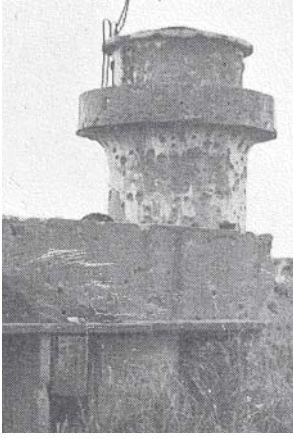
その他にも、簡易な標識として、現在大阪市の市章にも採用されている「湊標」と呼ばれるものがあります。湊標は、

び明治以前の暗黒の海と化してしまいました。

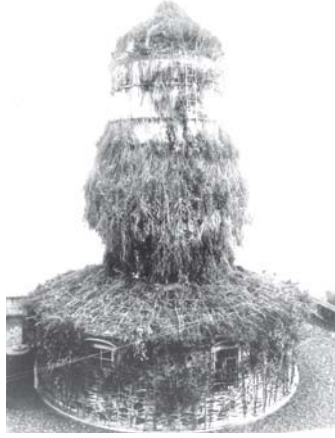
戦後、占領軍総司令部（GHQ）の指令で、優先課題として航路標識の復旧が行われていましたが、昭和23年5月の海上保安庁発足により、当該復旧は海上保安庁で実施することになりました。

また、翌年24年には「航路標識法」が制定されました。これにより海上交通の安全確保のために建設された標識は全て海上保安庁に移管され、航路標識は国が、一元的に管理するようになりました。

戦後、日本は目覚しく発展し、港が大きくなったり、新しい港ができたりしました。それに従い航路標識の数も増え、平成22年度現在で全国に5369基の航路標識を設置・管理しています。



戦災を受けた蛇島灯台（鹿児島県）



戦時下にカモフラージュされた室戸岬灯台（高知県）

日本の灯台140年のあゆみ

～文化に先がけて誕生し日本の海を守り続けて～

国土交通省には、みなさんの生活基盤を支えるため欠かせない仕事が多く存在します。

それらが現在に至るまでの背景には、先人の知恵や技術を受け継いできた長い歴史があります。

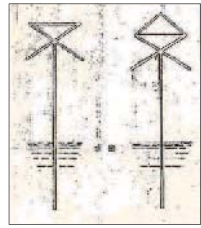
今回は、船舶の道しるべとなる「灯台」の歴史にせまります。

海上保安庁 交通部企画課

西洋灯台の誕生

わが国の洋式灯台の発端となったのは、文久三年（1863年）に起きた下関事件^{※1}です。この事件に対する賠償などが盛り込まれた、英、米、仏、蘭4か国と結ばれた「江戸条約」において、全国8箇所への灯台と2箇所の灯船の設置が義務づけられました。

これを引き継いだ明治新政府は明治元年（1868年）、フランス人技師に観



湊標



灯明台

の日野喜三郎という人が、福浦港に建てた灯明台は、石づくりの小さなもので、油紙をはった障子の中で油をもやして火を灯すものでした。これが、日本で初めて油を使った灯台といわれています。

慶長13年（1608年）に能登国福浦の河川などで浅瀬と船が航行可能な場所との境界に並べて設置し航路を示すもので、万葉集にも詠まれており、古くから利用されていたことが知られています。

徳川の時代になると、江戸を中心に各地との海上交易が盛んとなり、和式の灯台が建てられるようになりました。そのころの灯台は「かがり屋」とか「灯明台」と呼ばれており、石積みのお台の上に小屋を建て、その中で木を燃やす仕組みのものでした。

明治4年に撤退し、それを引継いだイギリス人技師も明治14年には帰国していましたが、以降は全て日本人のみで航路標識事業が行われています。



初代観音埼灯台



現在の観音埼灯台

航路標識の発達

大正、昭和の時代になると、日本は世界でも指折りの海運、水産国になりました。航路標識にも新たに電波を利用した標識（無線方位信号所）が登場し、航海の安全が一層図られることになりました。それでも、当時の日本は、外国からは「ダーク・シー（暗い海）」と言われるほど、灯台の少ない国であり、太平洋戦争が始まる前の標識数は400基程しかありませんでした。

しかも標識の多くが、戦争で被災して機能を失ったことから、日本の海は再

進化する航路標識

海上保安庁では、変化する海上交通環境に適確に対応するため、新たな技術を活用した航路標識の開発及び機能向上などの整備を行い、海上交通の安全確保を図っています。

①自然エネルギーの利用（地球に優しい灯台）

災害発生時の停電などに左右されることなく、安定的な電源供給を可能とし、発電時に二酸化炭素を排出しない太陽電池などのクリーンエネルギーを航路標識の電源として導入しました。また、これまで航路標識の光源には白熱電球を多く使用していましたが、省エネ効果が高く視認性の良いLED光源への転換を図り、標識の信頼性向上（災害に強い航路標識化）、海上輸送の安全確保及び地球温暖化の防止に積極的に努めています。



佐多岬灯台（鹿児島県）

②輻輳海域^{※2}・港内の安全対策

東京湾、伊勢湾、瀬戸内海及び関門港といった船舶が特に輻輳する海域の安全対策として海上交通センター（航路標識名では船舶通航信号所）を整備しています。

海上交通センターでは、当該海域を船舶が安全に航行するための船舶動静、気象、海象などの情報提供や不適切な航行を行う船舶に対する指導を巡視船艇と連携して実施しています。

航行船舶の動静把握は、主として高性能レーダーで行っていましたが、これに加え、船舶自動識別装置（AIS）^{※3}を用いた航行支援システムを新たに整備し、より詳細な船舶動静を把握できるようにしました。その結果、適時適確な情報提供が一層細やかに実施可能となり、船舶航行の安全強化を図っています。



海上交通センター運用管制室

以上のように、航路標識は、140年前に観音埼灯台が誕生して以降、船舶の道しるべとして、日進月歩の技術を取り入れつつ、四面を海で囲まれたわが国の海上の安全を守り続けています。

※1 長州藩が、尊皇攘夷の旗印のもと下関海峡を航行中の米仏商船を砲撃したが、英仏米蘭の連合艦隊の報復にあい敗戦した。

※2 船が集中して混雑する海域。

※3 一定規模以上の船舶に搭載が義務化されている。

この教室では、気象庁マスコットキャラクターのはれるん  が、気象について教えてください。

9時間目は「ひょう・晩霜」について学びましょう。

はれるんのお天気教室

寒さもゆるみ、ぽかぽか陽気。
4月は肌寒い日もありますが、
5月は風薫る5月とも呼ばれ、
初夏の陽気になります。
今回は、5月に注意したい、
ひょうや晩霜についてお話します。

9時間目
ひょう・
晩霜



2000年5月25日に千葉県に降ったピンポン大のひょう（左下は1円玉）

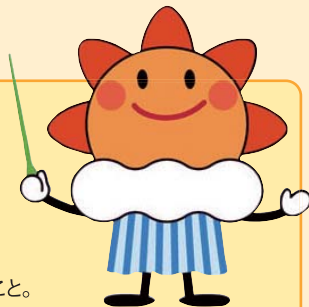
ひょうは強い積乱雲に伴って発生し、そのほとんどは雷を伴います。気象庁の発表する雷注意報や気象情報ではひょうが降る可能性が大きい場合

5月の強い日差しで地面が温められているところへ上空に強い寒気が流れ込むと、大気の状態が不安定となって積乱雲が発達し、雷雨や時に大粒のひょうが降ります。ひょうは、積乱雲の中で小さな氷の粒が上昇と下降を繰り返して、他の氷の粒や水滴と一緒に大きくなって成長します。このため、ひょうには水滴が凍ったために透明なものや、氷の粒が集合して白く見えるものなどいろいろな種類があります（写真）。

この時期のひょうは生育を始めた農作物にとって大敵で、毎年多くの農業被害が発生しており、5月は1年で最もひょうの被害が多い月となっています。

はれるんプロフィール

名前:はれるん(気象庁マスコットキャラクター)
種別:地球の自然(太陽、雲、雨)
所属:気象庁総務部総務課広報室
趣味:天気予報
仕事:国民の気象庁に対する親近感を深めること。
その他情報:特技は、雲の襟巻きを回転させ、空を飛ぶこと。
(地球上に災害が発生しないよう監視するため)
各地のお天気フェア、気象庁ホームページ、気象庁1階にある「気象科学館」で会うことができる。



には、その旨を記述していますのでご注意ください。

一方、5月頃には移動性高気圧に覆われて晴れた結果、夜間に放射冷却現象によって冷え込みが強まり霜が降りることがあります。初夏の頃発生する霜を晩霜（おそじも）と呼び、ひょうの場合と同様に大きな被害が生じることがあります。晩霜による被害の発生が予想されるときには、各地の気象台は霜注意報を発表しますのでご利用ください。

教えて国土交通省!

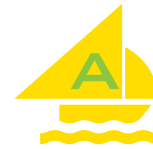
国土交通省に寄せられた、普段の生活で感じたふとした疑問や質問などを紹介するこのコーナー。
今回は、「海賊」と「サービスエリア、パーキングエリア」についての2つの質問にお答えしていきます。



海事局 担当者に聞きました。

海賊って本当にいるの?

映画のパイレーツ・オブ・カリビアンが大好きです。映画の中のジャック・スパロウのような海賊は本当にいますか？
(広島県・中1)



もちろん、映画に出てくる空想上の海賊とは姿形も状況も全く異なりますが、世界には非合法な手段で金品や食料を強奪する“海賊”がいます。
国際商業会議所(ICC)の国際海事局(IMB)が2011年1月に発表した年次報告書(速報)によると海賊などの事案は2010年に世界で445件発生しています。また、日本関係の船舶が被害を受けた事案は15件でした。
東南アジアや東シナ海の被害件数も増加していますが、最も深刻なのは欧州とアジアの海上輸送を結ぶソマリア沖アデン湾やインド洋です。1年間に49隻の船舶がハイジャックされ、1016人の船員が人質となりました。依然として世界の約9割のハイジャックは同海域で発生しています。
日本は海に囲まれた島国ですから、生活に必要な物資の多くを船舶による輸入にたよっています。海上輸送の安全を脅かす海賊は日本人の生活にとって大きな問題なのです。現在、アデン湾では海上自衛隊による護衛活動が行われています。国土交通省は、船舶運航事業者などからの護衛申請受付と対象船舶選定の役割を担っており、今後とも安全で安定的な国際海上輸送路の確保に取り組んでいきます。



道路局 担当者に聞きました。

“サービスエリア”と“パーキングエリア”ってどう違うの?

田舎に行った時に高速道路を走っているとサービスエリアとパーキングエリアというのがありました。どう違うのかわからないので教えてください。
(神奈川県・小5)



サービスエリア(SA)とパーキングエリア(PA)は、いずれも快適に高速道路を利用して頂くために設置されている休憩施設ですが、両者に明確な違いはありません。
基本的にサービスエリアは、駐車場、トイレの他にレストランやガソリンスタンド、売店などのサービス機能を備えています。
パーキングエリアには、駐車場、トイレ以外のレストランなどは必要に応じて設けられていますが、関越自動車道の三芳パーキングエリアのようにサービスエリアよりサービス施設の充実したパーキングエリアもあります。
近年、高速道路株式会社は、多機能トイレやドックランの整備などSA、PAの垣根なく休憩施設の改善・充実を図っています。また、商業施設内には有名レストランや地域の名産店が出店され、その土地ならではの特色を持った休憩施設が増えています。是非、高速道路をご利用の際には休憩施設にお立ち寄りください。



市原サービスエリア(下り)のドックラン



寄居☆星の王子さまパーキングエリア

共通基準による観光入込客統計の活用事例を紹介します！

観光庁では、平成21年12月、従来は各自治体によって定義が異なっていた観光入込客統計に関して「共通基準」を制定し、平成22年4月より順次、全国45都道府県において共通基準による調査を実施しています。この共通基準を採用することで3つの利点があります。

- ①観光客の実際の数(実人数)を把握することができる。
- ②その都道府県で支出された観光消費額の算出が可能になる。
- ③他の都道府県と同じ基準で比較ができる。

この度、具体的な分析・活用例を作成しましたので、都道府県や市区町村などで「効率的かつ効果的な観光振興」の立案にご活用ください。

観光庁参事官(観光経済担当)付 03-5253-8111(内線 27218・27219)

検索 観光入込客統計活用



観光統計イメージキャラクター
(愛称絶賛募集中!)

湖沼湿原調査「風蓮湖周辺及び温根沼地区」を公開しました

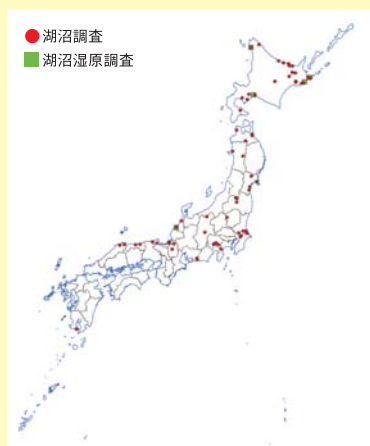
国土地理院では、ラムサール条約の登録湿地など貴重な自然を残している湖沼・湿原を対象に2002年から湖沼湿原調査を行っています。

タンチョウの生息地として知られる同地区は、50年間で畑地の面積が約5倍に増加し、湿地の面積が約40%減少していることがわかりました。

調査では、湖沼の地形・底質・水中植物、湿原とその周辺の土地利用の変遷などを調べ、地図、報告書にとりまとめ公表しましたので、湖沼の保全や利用促進にご活用ください。

国土地理院地理調査部環境地理課湖沼湿原調査係 029-864-6919

検索 湖沼湿原調査



「魅力ある日本のおみやげコンテスト2011」審査結果発表!!

観光庁では、外国の方から見た魅力的な日本のおみやげを選定する「魅力ある日本のおみやげコンテスト」を2005年より開催しています。今回は過去最高となる応募総数755品目の中から「街並はがき」(山岡進・東京都)がグランプリに輝きました。このほか部門賞9品目、各国・地域賞14品目、国際森林年特別賞1品目が選ばれています。

観光庁観光地域振興部観光資源課 03-5253-8111(内線 27810・27822)

検索 魅力ある日本のおみやげコンテスト2011



アイルビーバツク

「アイルビーバツク!」。そう叫んだ、1月14日の馬淵澄夫前国交相の退任会見は、ある意味痺れた。「大臣の発言として軽い」「スベってる」など、不評の声も聞かれるが、大臣は記者の質問に応えただけ。悪いのは質問した記者(私)です。

「ターミネーターなんだから、去るときはアイルビーバツクだろ」。退任が噂されたときからそう考えていた。馬淵氏は、鉄建機構の余剰金を巡る財務省との交渉で、野田佳彦財務相から「まるで(映画の)ターミネーターのようだ」と皮肉られた。これは、1兆5千億円もの余剰金を財務省に取り上げられないため、反論を重ねた馬淵氏の頭の良さを表現した(らしい)のだが、趣味がボディビル、腕の周長41センチを誇る馬淵氏は外見上も…。

問題は、「戻ってくるぜ」という言葉が、馬淵氏の状況に合っているかどうか。例えば本家のシュワルツネッ

ガー氏でさえ、カリフォルニア州知事を退任する際に、決めゼリフを口にしたら反応は「B o o :」であろう。任期中、州財政を立て直せなかった責任を感じていないのか、戻ってくん、となる。馬淵氏はどうか。任期中の業績、退任の経緯、人柄を精査し、判断した。「ウケる、いやイケる」。

もう一つの問題は、私がそんなことを大臣にいわせてよいのかという点。幹事社だし(当時)、そもそも国交省クラブは誰でも発言していいのだが、この手の質問は、スベると互いにダメージがいや、質問者、回答者の人間力が問われてしまうのだ。私は、自分に質問者の資格があるか、半生を振り返ってみた。記者の経歴はろくでもないで省く。

岩登りのキャリアはざつと25年。天井のようなオーバーハングをよじ登る、映画「クリフハンガー」でおなじみのあれである。高校生の頃は近所の石垣に登り、通報されることも

しばしば。地方の大学生時代、海岸の岩壁に目を付け、登りまくったが、東京で開かれた全国大会に出てみたらほぼ最下位。大田区出身であることを忘れ「東京はスゲー」と落ち込んだこともある。

最近、人工の壁にプラスチックの凹凸を取り付けた商業ジムが台頭。42歳の現在でも通い詰め、限界を少しずつだが押し上げていく。並行してボクシングも5年やっていた。要するにスタロンの半生で、ターミネーターとある意味互角な気がした。1月14日早朝、近所の公園で懸垂100回をこなし会見に臨んだ。同時刻、馬淵氏もジムで筋トレしていたらしい。まさに互角…。

会見は長時間に及んだ。馬淵氏からは退任の悔しさが滲み出ている。質問も尽きたころ、おそろおそろ手を挙げた。「大臣はターミネーターと恐れられ云々、タフネゴシエーター

でゴニョゴニョ…、あのー決めゼリフお願いします!」。テープを聞き返すと声が震えていて笑える。

「ご要望があるようですから」。そう前置した馬淵氏は、意を決したように最後の挨拶を述べたあと、すばらしい発音で「アイルビーバツク!!」と叫んだ。国交相に戻りたいのか、内閣に戻りたいのかは不明だったが、会見場は大ウケ。これ以降、馬淵氏はことあるごとにこのセリフを連発しているらしい。このように、記者クラブには質問1つとっても、生きるか死ぬか、やるかやられるかの緊張感が満ちているのである(笑)。

